

国立商船隊
Flota Mercante del Estado (FLOMERES)

1. 組織概要及び歴史

カルロス・アントニオ・ロペス大統領の政権下、1840年に国立商船隊が創設され、商船及び軍事機能を果たしていた。最初の蒸気船は国外から輸入されていたが、材料輸入が可能となった後には、国内で蒸気船を建造するようになった。

1945年6月27日の大統領令9351号によって新商船隊が設立され、FLOTA MERCANTE DEL ESTADO (FLOMERES) と名付けられた。この新しい国営組織は、海軍及び公共事業・通信省の代表者によって構成される混成委員会によって運営されていた。

国立商船隊の最初の4隻は米国から購入されたものであったが、その後1958年に、スペインから3隻の自航貨物船と4艘のドライ・バージ船を購入する契約が締結された。翌年(1959年)には、日本の円借款による大規模な事業契約が署名された。

1970年代から、商船隊の拡大プログラムが始まったが、80年代に入りFLOMERESは競争力を失い、パラグアイ国立商船隊は1991年に民営化され、5つの会社に分割された。

2. 過去の協力実績

2.1. 国立商船隊 (有償資金協力)

L/A 署名: 1959年

内容: 1961年に7隻の船舶が整備された。4隻の船舶(958トンの貨物船2隻、2,100 m³の貨物船2隻)、650トンの家畜運搬船1隻、バージ1隻、そして、プッシャーボート2隻が整備された。

協力金額: 13,680百万円



2.2 船舶増強計画 (フィージビリティ調査)

調査期間: 1977年 ~1978年

協力内容: 艦隊拡張プロジェクトのフィージビリティ調査の実施。

2.3 国立商船隊船舶増強事業 (PG-P04) - (有償資金協力)

L/A 署名日: 1979年06月28日

事業期間: 1979年 ~1986年

内容: 内陸国であるパラグアイにとって生命線である河川輸送力を強化するため、国立商船(FME)の所有船舶を増強し、同国の経済発展に寄与することを目的とした。

実行額: 7,444百万円



3. 上記以外の協力

- 個別専門家派遣(船舶運行管理) (1987年 ~1992年)
- 船舶運航技術教育用機材 (機材) (1991年)